

# 『ちょっとハイキング』へのお誘い 白檀周辺の遺跡を歩こう

## 牟佐坐神社 (むさにますじんじゃ)

近鉄吉野線岡寺駅のすぐ西側に鎮座している神社で、御祭神は、高皇産靈命(たかみかみのみこと)と孝元天皇です。

鎮座地は見瀬町で、見瀬は牟佐の転訛とされています。長い歴史の中で言葉が訛り、いつの間にか見瀬という地名がうまれたようです。



## 燈明田児童公園 (とうみょうだ)



松ぼっくりがたくさん採れるという情報もあります。

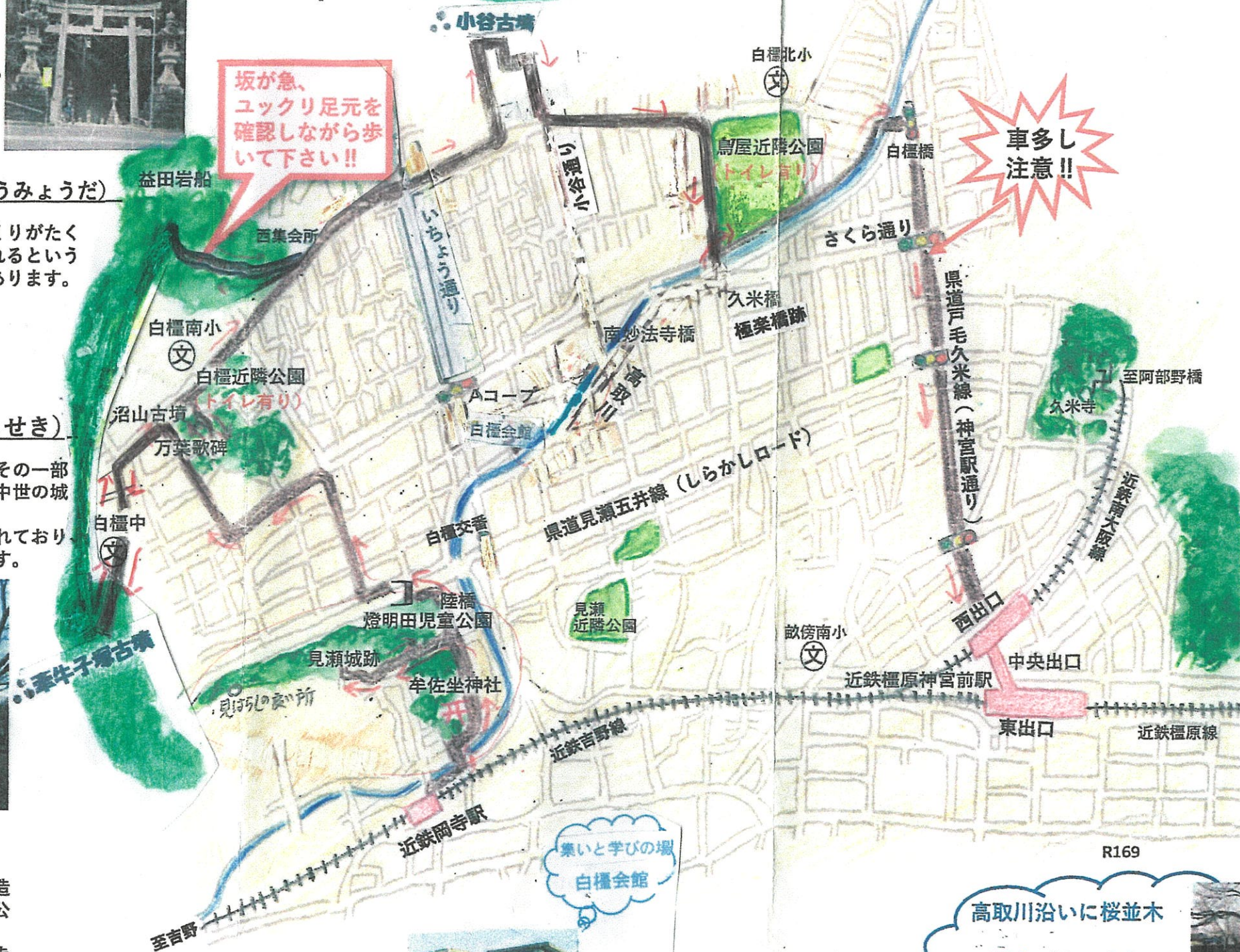
## 見瀬城跡 (みせじょうせき)

燈明田児童公園の南の緑地、その一部に字「城山」の地名が残る。中世の城址で、越智氏の砦だった。現在では「見瀬城址」と呼ばれており、桜の時期は、お花見どころです。



## 白檀近隣公園

地名は「沼山」ニュータウン造成時自然の丘をそのまま残し公園になりました。春は桜、秋は紅葉が美しく散歩に最適。



## 万葉歌碑

中大兄皇子の大和三山の妻争いの歌として有名。  
“香具山は 畝火雄々しと 耳梨と 相あそひき  
神代より 斯くにあるらし いにしへも  
然にあれこそ うつせみも 端を あらそふらしき”



## 沼山古墳 (ぬまやまこふん)

白檀近隣公園の中に保存されている古墳。古墳の形式は円墳で、築造年代は6世紀。横穴式石室が開口しており、鉄柵越しに石室の中を覗き見ることができます。



## 益田岩船 (ますだのいわふね)

貝吹山の東峰にある巨大な花崗岩の石造物。南北約8m、東西約11m、高さ約4.7m。上部に一辺約1.6m、深さ約1.2mの穴が空けられていますが、岩船が何を目的として造られたものか、諸説ある。白檀町のシンボルとも云える巨石です。県指定史跡。



## 牽牛子塚古墳 (けんごしづかこふん)

飛鳥の女帝・斉明天皇が葬られている可能性が高く、八角形の古墳の形が、アサガオの花びらに似ていることから「アサガオ塚」とも呼ばれ、5年かけて復元整備され、3月6日から一般公開。国の史跡に指定。



## 小谷古墳 (こたにこふん)

県の史跡指定。貝吹山から北東に延びる丘陵の先端。方墳、あるいは円墳で、巨石を用いた両袖式の横穴式石室です。石室の形状から7世紀に築かれた古墳と考えられます。



## 高取川 (たかとりがわ)

高取山を源流とする高取川はかつて久米川と呼ばれ、散歩コースとして、春は両岸に桜並木が続く。

## 久米橋 (くめばし)

旧久米村・見瀬村・鳥屋村・南妙法寺村を結ぶ唯一の石橋があった。現久米橋の傍に極楽橋跡の碑が立つ。

地域住民が憩えるミドリ豊かな公園

令和4年度

檀原市運動普及推進員協議会



※：歩数、距離、時間は、あくまで目安です。